

千葉県市町村合併推進構想

2市4町の合併によりできる新しい市は…

- ▶人口 22万8,930人 ※人口は平成17年国勢調査結果による
▶面積 436.21km²

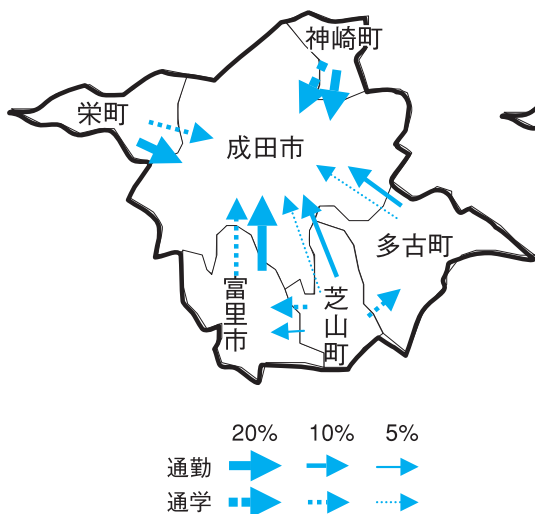
鉄道・道路の状況



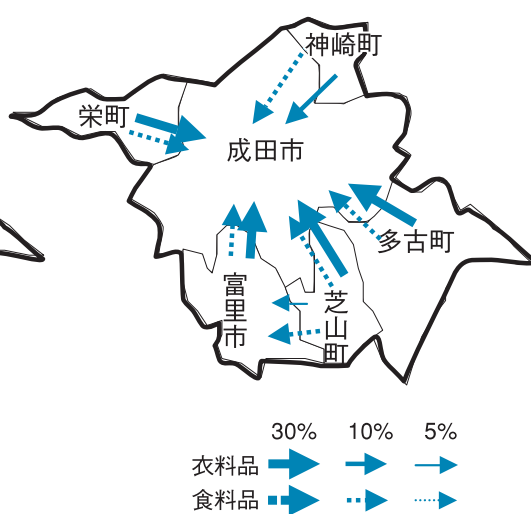
日常生活圏の状況

「統計データ等からみた地域的一体性・類似性の調査・分析」(平成17年度実施)から、組み合わせ内の状況を図示しました。

通勤・通学圏



商圈



2市4町の合併を考える

「成田市・富里市・栄町・神崎町・多古町・芝山町」の2市4町による市町村合併

千葉県市町村合併推進構想による 組み合わせの設定理由

企画課企画調整室 内線282

① 成田市を核に一体化した日常生活圏が形成されています。

通勤・通学、商圈とも成田

市を中心として日常の生活圏が形成されており、住民の生活圏に合わせまわづくりを担うことで、住民の満足度を高め、いくことが期待できます。

② 広域的に対応すべき課題に効果的に対応していく必要があります。

空港を核とした地域振興、経済活性化、広域観光施策の推進、環状道路など広域的な課題は、一つの市が一体的に担うことで、より効果的に対応することが期待できます。

③ 急激に進む高齢化へ対応する必要があります。

急激な高齢化の進展に地域が一体的に対応することで、財政面、施策面でのさまざまな工夫が期待できます。

～平和の尊さを忘れないために～

平和映画会・原爆写真展を開催

企画課広報統計班 内線287

富里市は昭和59年9月に、核兵器の廃絶と世界の恒久的な平和を祈念して「非核平和都市」を宣言しました。

戦後63年を迎え、悲慘な戦争が風化されつつある今、人の心に悲しみと苦しみを与えた戦争の愚かさ、そして、平和に暮らしている今の生活がどんなに大切なものかを、多くの人に語り継がなくてはなりません。この企画を通して、次の世代の心の中に平和の大切さ、命の尊さが芽生えてくれることを願っています。

8月15日の正午に平和を願い黙とうを

先の大戦で亡くなった多くの方々を追悼し、また平和を祈念するため、8月15日(金)に日本武道館にて、戦没者追悼式が行われます。今、改めて問う、かけがいのない1分間です。

平和映画会

■日時…8月3日(日) 午前10時～午後2時～
 ■場所…市立図書館2階AVホール ■上映作品…「はだしのゲン」(アニメ90分) ■費用…無料 ■定員…各回先着80人
 ■内容…1945年8月6日の原爆投下により、一瞬にして父、姉、弟を奪われ、廃墟と化したヒロシマでたくましく生き抜くゲンとその家族を描いた物語です。



原爆写真展

■期間…8月2日(土)～19日(火) ■時間…各施設の開館時間内
 ■場所…中央公民館ロビー、市立図書館、北部コミュニティセンター

図書館で平和に関する本を展示しています

市立図書館では、平和映画会、原爆写真展の開催にあわせ、戦争・非核・平和に関する本を展示します。

■期間…8月27日(水)まで ■場所…展示コーナー
 市立図書館 ☎(90)4646

千葉県市町村合併推進構想による 合併で期待できる効果

①総合自治体への進化

■人口約23万人の（※）特例市への移行により、まちづくり、環境行政などで地域の実情に合わせた取り組みが可能

可能になります。

主な移譲事務としては、騒音規制地域の指定、規制基準の設定、開発行為許可、土地区画整理事業の施行区域内の建築行為の許可などがあります。

（※）特例市とは

人口20万人を要件として、法令に基づく権限移譲によって、都市計画・環境保全行政などの充実が図られ、基礎自治体で事務処理が完結することで迅速な対応が

②地域特性を最大限に活かす新たなまちづくりのチャンス

■国際空港都市にふさわしい規模能力

○人口約23万の国際空港都市として地域の存在感が向上

○海外観光客やトランジット（空港での乗り継ぎ）客などの多様な空港利用者を、空港周辺の観光資源に誘導し、地域を活性化

■首都圏中央連絡自動車道・成田新高速鉄道などの整備効果を地域全体へ波及

③行政サービス水準を落とさず、内部管理経費を削減し、新たな財源を産み出す

■今後数年間で大量の退職者が予定されているため、合併により各市町に共通の

総務、企画など管理部門の合理化を円滑に進めることが可能

富里市の考え方

市町村合併については、平成15年度に「成田市・富里市・下総町・多古町・芝山町・大栄町」の組み合わせが成田市から提示されましたが、さまざまな事情から、最終的に「成田市・下総町・大栄町」の1市2町の合併が行われ、富里市をとりまく、いわゆる「合併の第1ステージ」は終了しました。

かしながら、富里市としては「長期的な視点から成田空港を核とした新たな国際空港都市の実現」のためにも、合併に係る協議の場の設置については必要であると考え、平成16年2月16日に成田市長に要望しました。

その後、平成17年4月に新合併特例法が施行され、「千葉県市町村合併推進構想」において、「成田市・富里市・栄町・神崎町・多古町・芝山町」の2市4町による合併の組み合わせが提示されました。

提示されました。

富里市として、県の組み合わせを尊重し、地方分権の推進の中で、行政基盤の充実と空港を中心としたまちづくりのためにも、合併は選択肢の一つであると考え、これまででも考えていました。

しかし、成田市は平成18年3月に旧下総町、旧大栄町と合併して間もないことから、これまで富里市をはじめほかの町でも具体的な取り組みが難しい状況でした。

そこで、平成19年11月から、富里市、栄町、神崎町、多古町および芝山町の1市4町の首長により、成田市を含む2市4町の合併実現に向け、当面は1市4町において成田市への合併の働きかけを協議する場として懇談会を始めることとしました。

この懇談会は、これまで7回開催され、各市町の資源や課題、新たな都市づくりを主なテーマとし

▼懇談会は今までに7回開催されました



▲1市4町の首長懇談会で意見交換する相川市長

て意見交換をしてきました。

富里市としては、成田市、富里市、栄町、神崎町、多古町および芝山町の2市4町による合併に向け取り組みでまいりたいと考えます。

今後、合併の取り組み状況については、市ホームページや広報とみさとなどによりお知らせしていきます。

【千葉県市町村合併推進構想について】

■県ホームページアドレス
http://www.pref.chiba.lg.jp/syozoku/a_shichou/kouiki/gappei.html

■市ホームページアドレス
<http://www.city.tomisato.chiba.jp/>

とみさとプラザ

—その1—

消防 第28回印旛支部消防操法大会 市消防団が大躍進

「第28回千葉県消防協会印旛支部消防操法大会」が6月29日、栄町立栄中学校で開催されました。

この大会は、消防操法の技術とスピード・正確さを競うもので、当日は各市町村代表チームが「小型ポンプの部」と「ポンプ車の部」の2部門で高い技術を披露しました。

市代表チームは、小型ポンプの部に出場した第5分団（七栄）が見事に優勝を果たし、ポンプ車の部では第14分団（二区）が敢闘賞に輝くなど、日ごろの訓練成果を発揮し大躍進しました。

また、個人賞として第5分団の鈴木賢一さんが小型ポンプの部優秀1番員、同小川晃司さんが優秀3番員を受賞し、第14分団の川島聡さんがポンプ車の部優秀4番員を受賞しました。

▼第5分団の小型ポンプ操法。放水で前方の的（火点）を射抜きます



なお、第5分団は7月26日に県消防学校で行われた第44回千葉県消防操法大会に、小型ポンプの部印旛支部代表として出場しました。



▲第14分団のポンプ車操法。第2線放水の様子



▲小型ポンプの部で優勝した第5分団のみなさん（左から3人目が鈴木賢一さん、右から2人目が小川晃司さん）



▲ポンプ車の部で敢闘賞を受賞した第14分団のみなさん（右から2人目が川島聡さん）